

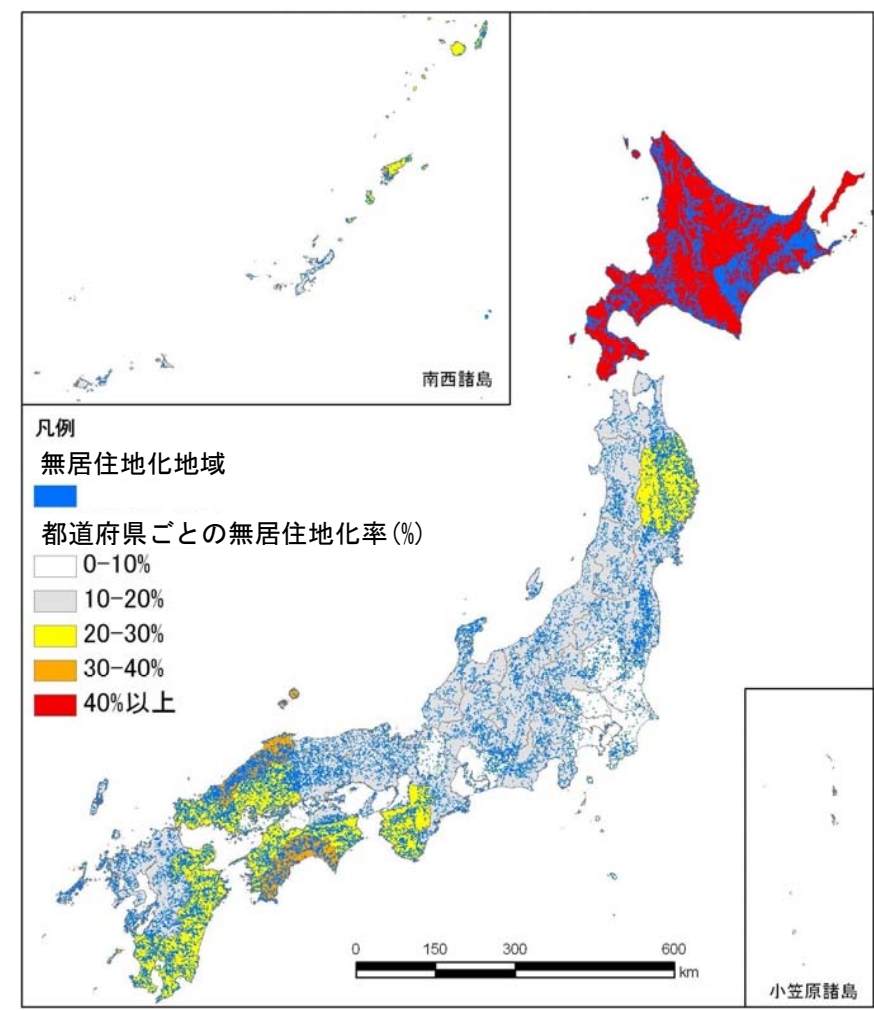
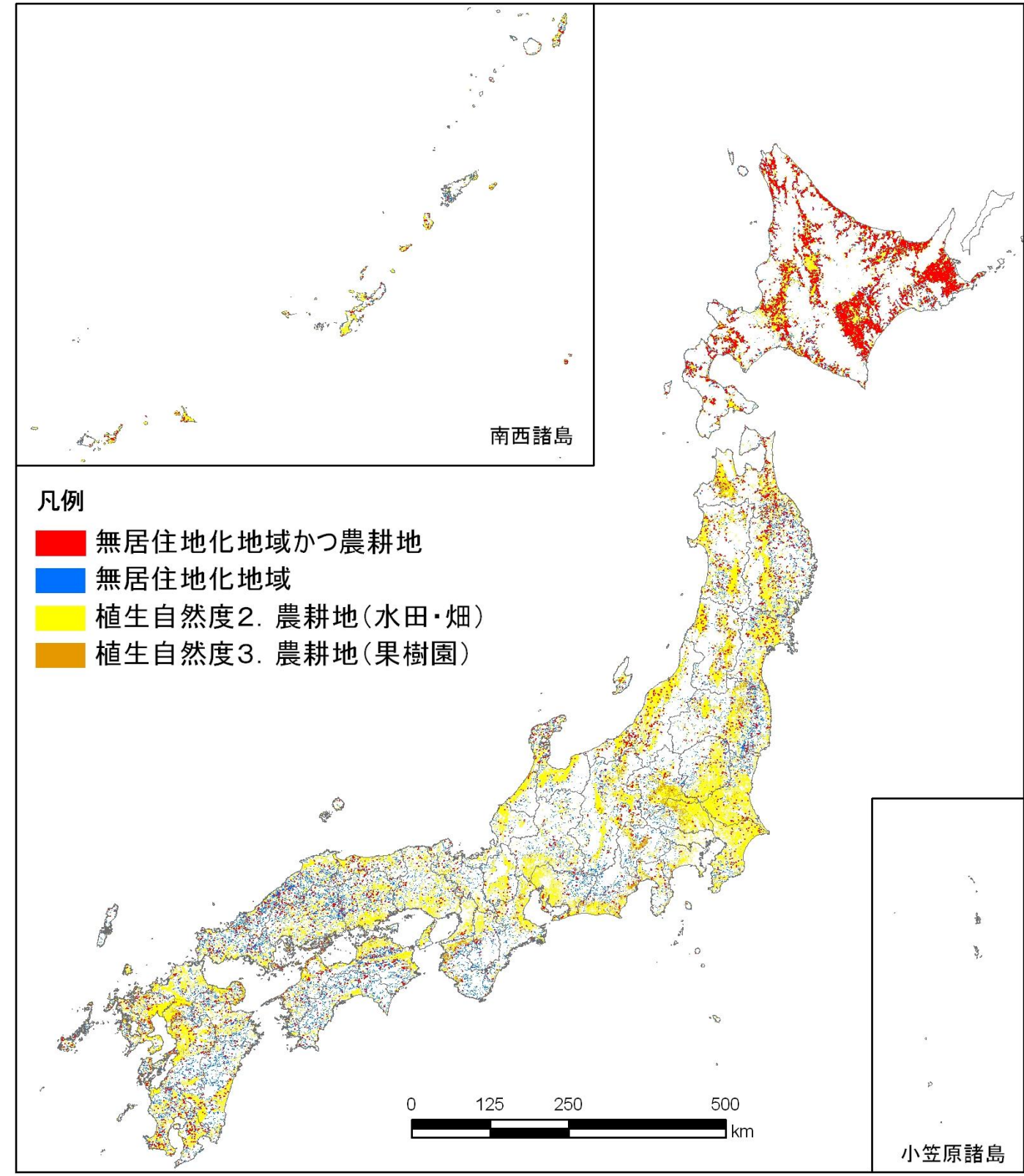
2-1 土地利用区分ごとにみた無居住地化が予測されている地域

植生自然度ごとの 2050 年の無居住地化予測地域の割合

植生自然度	無居住地化地域 (km ²)	植生自然度のメッシュ数 (km ²)	各植生自然度に対する割合 (%)
1. 市街地、造成地等	333	15,999	2.1
2. 農耕地 (水田・畑)	9,902	77,734	12.7
3. 農耕地 (果樹園)	474	6,788	7.0
4. 二次草原 (背の低い草原)	736	7,552	9.7
5. 二次草原 (背の高い草原)	594	5,568	10.7
6. 植林地	11,152	91,414	12.2
7. 二次林	9,740	68,540	14.2
8. 二次林 (自然に近いもの)	1,879	19,598	9.6
9. 自然林	2,772	65,824	4.2
10. 自然草原	243	3,993	6.1
合計	37,825	363,010	10.4

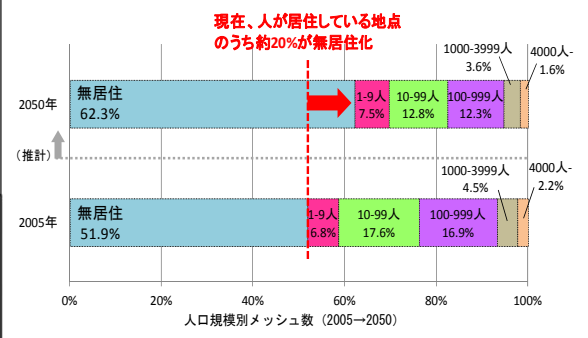
注：各植生自然度に対する割合= (無居住地化地域と重複する地域 / 植生自然度のメッシュ数) × 100
 2005年時点で居住している地域のみで算出。
 出典：環境庁自然保護局：第2, 4, 5回 自然環境保全基礎調査 (植生調査) 1994-1998年度時点の調査データを反映。

2050年の無居住地化予測地域及び農耕地 (植生自然度 2、3)



- 2050年までに、現在、人が居住している地域のうち約2割の地域が無居住地化。
- 現在国土の約5割に人が居住しているが、それが4割にまで減少。

出典：国土交通省国土政策局推計値及び平成17年国勢調査 (総務省) をもとに環境省自然環境局作成
 注：無居住地化地域率= (2050年無居住地化地域面積 / 2005年時点の居住地域の面積) × 100



2050年の無居住地化予測地域及び植林地（植生自然度6）



2050年の無居住地化予測地域及び二次林（植生自然度7、8）

